

## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月27日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	9,886	△9.6	303	△67.1	366	△62.4	222	△55.2
27年12月期第1四半期	10,938	14.5	923	0.8	977	11.4	497	△15.9

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △575百万円 (△196.5%) 27年12月期第1四半期 596百万円 (209.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	14.21	—
27年12月期第1四半期	28.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	46,025	19,600	37.3	1,094.17
27年12月期	49,067	20,515	36.4	1,137.59

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 17,168百万円 27年12月期 17,849百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	8.00	—	12.00	20.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	9.1	1,000	△32.9	1,000	△38.7	2,500	151.6	159.33
通期	50,000	7.5	3,000	26.9	3,000	22.8	3,000	160.5	191.19

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期1Q	17,710,000株	27年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	2,019,016株	27年12月期	2,019,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期1Q	15,690,984株	27年12月期1Q	17,591,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）におけるわが国経済は、輸出などでの回復の兆しがみられるなど企業業績が好調に推移していることに加え、政府による補正予算で景気の下支えがなされるなど、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、個人消費の停滞感がみられることや、日銀による前例のないマイナス金利政策が実施され、海外においても、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、更には円高・ドル安方向への動きなど、従来にも増して先行きの不透明感が強まる状況となりました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は98億8千6百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は3億3百万円（同67.1%減）、経常利益は3億6千6百万円（同62.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千2百万円（同55.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## ① 化学品事業

売上高は73億1千3百万円（同16.8%減）、セグメント利益は2億4千7百万円（同72.5%減）となりました。

国内では、業務用クリーニング薬剤のホームクリーニング分野、コインランドリー分野が好調に推移しましたが、海外では、繊維加工薬剤において、環境対応型製品への移行に伴う韓国でのフッ素系撥水剤の販売が減少し、また年初よりの円高及びアジア通貨安の影響により、売上高は減少しました。

## ② 化粧品事業

売上高は24億8千6百万円（同15.8%増）、セグメント利益は4億7千4百万円（同18.4%増）となりました。

国内美容サロン業界全体が伸び悩む中、当社デミコスメティクスやイーラル株式会社の販売が堅調に推移したことに加え、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業や、DEMI KOREA CO., LTD.における販売も大幅に伸長したことにより、売上高は増加しました。

## ③ その他

売上高は8千5百万円、セグメント利益は2千万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、30億4千1百万円減少し、460億2千5百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の増加であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、21億2千6百万円減少し、264億2千5百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少及び賞与引当金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、9億1千5百万円減少し、196億円となりました。為替換算調整勘定の減少及び非支配株主持分の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の36.4%から37.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,652,338	5,906,809
受取手形及び売掛金	10,700,720	8,650,766
商品及び製品	3,276,283	3,997,160
仕掛品	875,174	1,029,061
原材料及び貯蔵品	2,812,912	2,878,907
その他	1,697,108	1,871,870
貸倒引当金	△81,071	△67,441
流動資産合計	26,933,465	24,267,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,460,704	7,465,675
機械装置及び運搬具（純額）	2,374,569	2,228,405
土地	6,262,802	6,164,843
その他（純額）	2,091,093	2,047,080
有形固定資産合計	18,189,170	17,906,004
無形固定資産		
のれん	185,622	162,832
その他	787,246	768,822
無形固定資産合計	972,868	931,654
投資その他の資産	2,971,860	2,920,596
固定資産合計	22,133,899	21,758,254
資産合計	49,067,364	46,025,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,901,131	4,350,316
短期借入金	14,445,308	14,465,460
未払法人税等	388,475	312,490
賞与引当金	542,595	281,275
その他	3,111,344	2,700,719
流動負債合計	24,388,856	22,110,262
固定負債		
長期借入金	850,000	1,000,000
退職給付に係る負債	2,532,365	2,533,591
その他	780,785	781,475
固定負債合計	4,163,151	4,315,066
負債合計	28,552,007	26,425,329
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	12,130,467	12,165,137
自己株式	△1,464,292	△1,464,292
株主資本合計	16,604,969	16,639,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359,815	318,064
為替換算調整勘定	913,669	239,853
退職給付に係る調整累計額	△28,539	△28,969
その他の包括利益累計額合計	1,244,945	528,948
非支配株主持分	2,665,442	2,431,470
純資産合計	20,515,357	19,600,059
負債純資産合計	49,067,364	46,025,389

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,938,084	9,886,625
売上原価	7,002,589	6,333,980
売上総利益	3,935,494	3,552,645
販売費及び一般管理費	3,011,952	3,248,716
営業利益	923,542	303,929
営業外収益		
受取利息	13,075	7,165
受取配当金	18,195	4,097
持分法による投資利益	14,963	15,746
為替差益	1,225	1,720
その他	68,302	111,066
営業外収益合計	115,762	139,795
営業外費用		
支払利息	18,646	22,110
売上割引	20,019	21,523
その他	23,485	33,158
営業外費用合計	62,151	76,791
経常利益	977,153	366,933
特別利益		
固定資産売却益	3,952	1,387
特別利益合計	3,952	1,387
特別損失		
固定資産除却損	13	146
固定資産売却損	122	101
投資有価証券評価損	—	334
特別功労金	—	25,800
特別損失合計	136	26,382
税金等調整前四半期純利益	980,968	341,938
法人税等	412,807	69,238
四半期純利益	568,161	272,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,697	49,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,464	222,962



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）
四半期純利益	568,161	272,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,250	△41,751
為替換算調整勘定	△29,753	△806,499
退職給付に係る調整額	△1,788	△430
その他の包括利益合計	28,708	△848,681
四半期包括利益	596,870	△575,981
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	505,385	△493,034
非支配株主に係る四半期包括利益	91,485	△82,946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,791,343	2,146,740	10,938,084	10,938,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	3,793	3,834	3,834
計	8,791,384	2,150,533	10,941,918	10,941,918
セグメント利益	897,444	400,915	1,298,360	1,298,360

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,298,360
セグメント間取引消去	2,847
全社費用（注）	△377,664
四半期連結損益計算書の営業利益	923,542

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,313,979	2,486,983	9,800,962	85,663	9,886,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	344	6,227	6,571	50,945	57,517
計	7,314,323	2,493,210	9,807,534	136,608	9,944,142
セグメント利益	247,110	474,845	721,955	20,279	742,234

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	721,955
「その他」の区分の利益	20,279
セグメント間取引消去	△32,644
全社費用（注）	△405,661
四半期連結損益計算書の営業利益	303,929

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。